



致道博物館

新収蔵品展

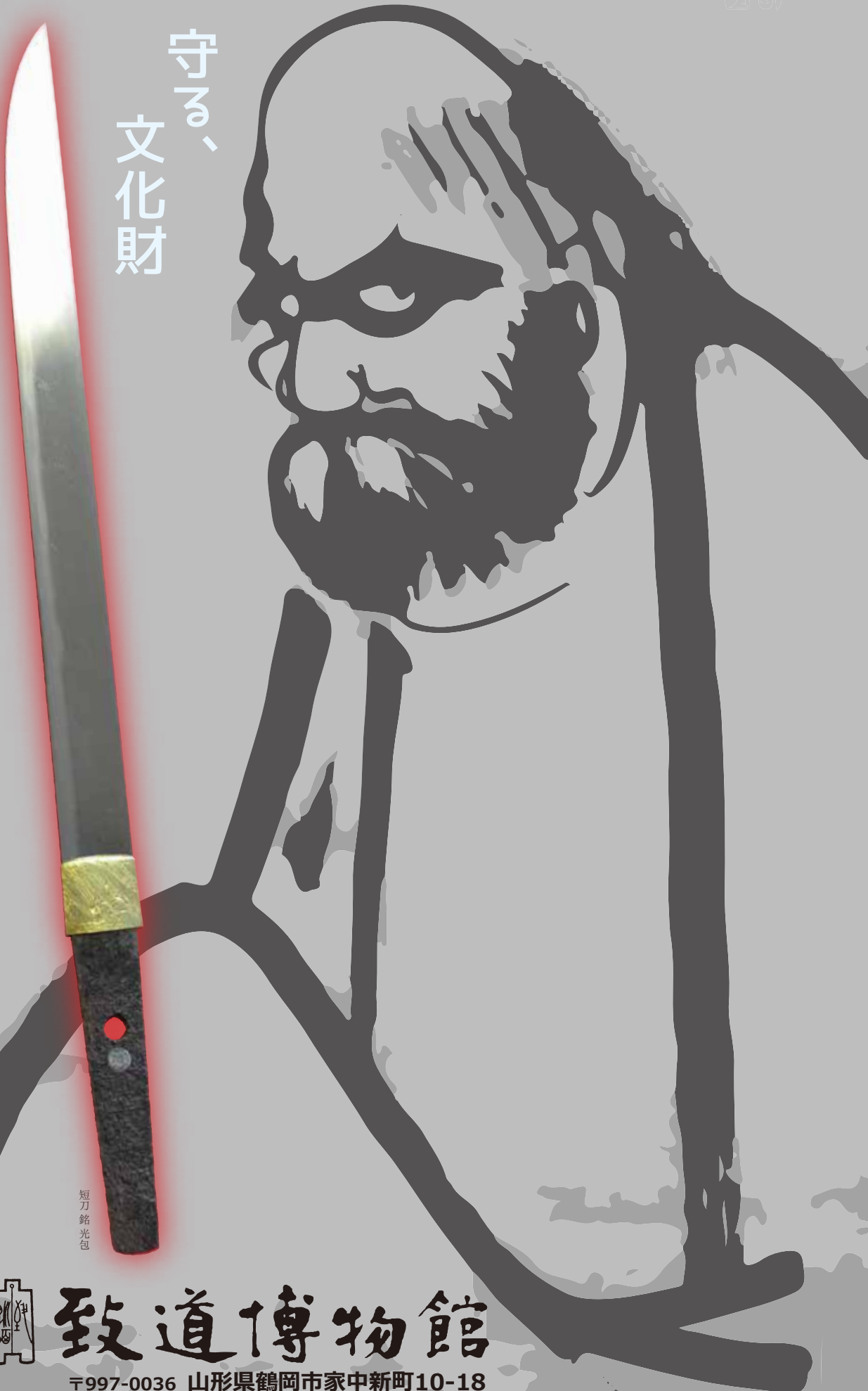
三矢宮松コレクションを中心に

平成30年

11/17 土

↓
12/25 火

守る、
文化財



短刀銘光包



致道博物館

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18
☎0235-22-1199

開館時間／休館日

11月30日まで 午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)／無休

12月1日より 午前9時～午後4時30分(入館は午後4時まで)／水曜休館

入館料 一般700円／高大生380円／小中生280円(20名以上で団体割引有)

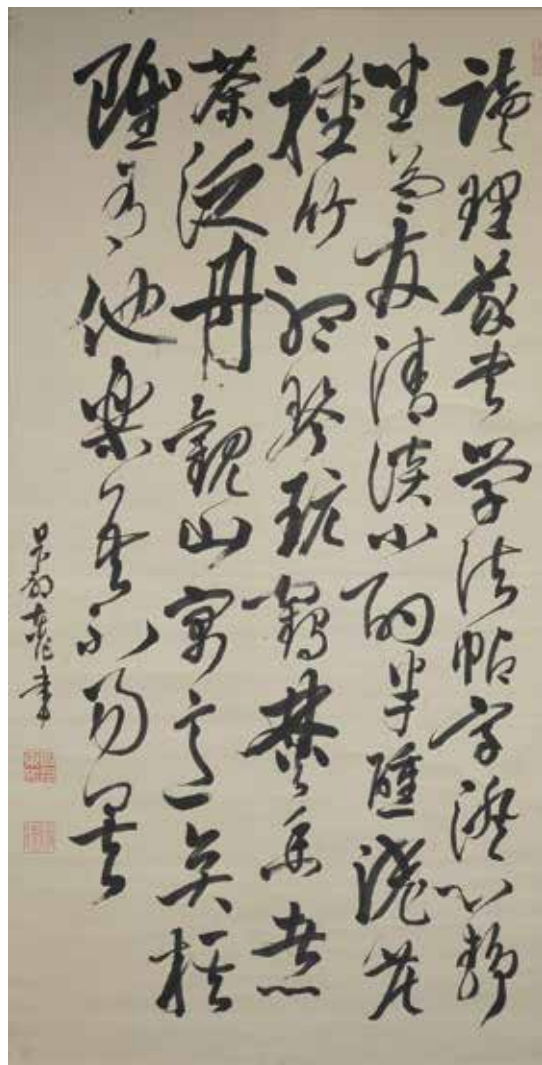
※本料金で、企画展のほか、常設展示棟・名勝酒井氏庭園もご覧いただけます

企画展共催 山形県・公益財団法人山形県生涯学習文化財団・鶴岡市教育委員会





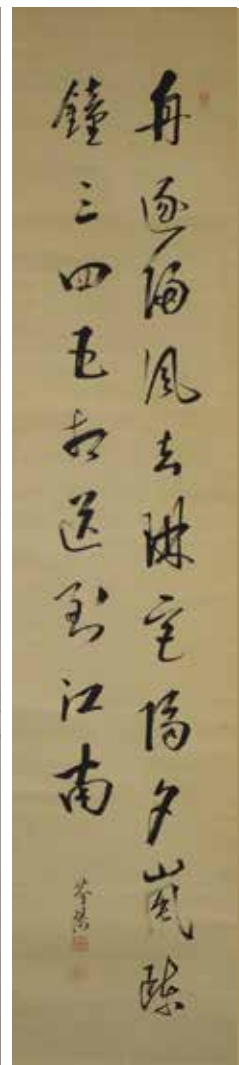
春叢和尚(1751-1839) 達磨像 自画賛



日下部鳴鶴(1838-1922) 五行書「詠理家書…」



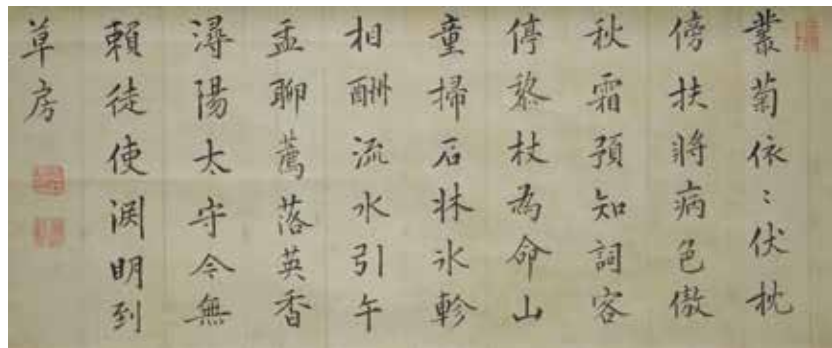
渡辺華山(1793-1841) 芙蓉小禽図 亀田綾瀬賛



廣瀬淡窓(1782-1856) 自詠五絶「舟逐…」



作者不明 鳳凰日の出蒔絵短刀拵(「短刀 銘光包」の拵)



亀井南溟(1743-1814) 七言律詩「叢菊依々…」

上記のほかの、主な出品内容

- 《書蹟》 祇園南海(1676-1751) 七言絶句「過歡喜寺召事」
- 亀井南溟(1743-1814) 七言律詩「叢菊依々」
- 黒崎研道(1853-1928) 二行書「和魂洋才佛神鬼手」
- 《絵画》 藤本鉄石(1816-1863) 観瀑煮茗之図 自画賛
- 加藤雪窓(1872-1918) 富士図
- 石井子龍(1778-1843) 山水図
- 酒井忠徳(1755-1812) 大黒天図 酒井忠良賛
- 《工芸》 土佐吉光(不明、室町時代後期) 短刀 銘吉光



三矢宮松(みつや みやまつ、1880-1959)
 明治13年、山形県西田川郡鶴岡町(現在の鶴岡市)に旧庄内藩士・三矢維顕の三男として生まれる。祖父は庄内藩校致道館で典学を勤め、兄の重松は国語学者・国文学者で折口信夫の師となった人物である。東京帝国大学法科大学独法科卒業、内務省に入省。各県警察部長、内務部長、内務監察官を歴任。退官後は、根津美術館館長などを務め、戦後、文化財保護委員会専門審議会委員となり、国宝・重要文化財の指定に携わった。若い頃から黒崎研堂に師事した能書家であり、また、刀剣に優れた鑑識眼を有した。

昭和25年に開館した致道博物館は、歴史・民俗・考古・美術・工芸など多岐にわたり、数多くの資料や作品を所蔵しています。これらには、当博物館の郷土に根ざした活動へのご理解・ご賛同により恵贈されたものが数多くあります。本展では、近年ご寄贈いただいた美術品の中から、三矢宮松コレクションを中心に、書蹟・絵画・工芸作品を約40点紹介いたします。

致道博物館からのお知らせ

- 年末年始休館日: 12月28日(金)~1月4日(金)
- 次回展覧会 第39回 鶴岡書道会会員展 1月5日(土)~15日(火)

公益財団法人致道博物館 交通案内



- JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分
- 山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分
- 庄内空港より
車で20分